



有浦保育園改築工事はじまる

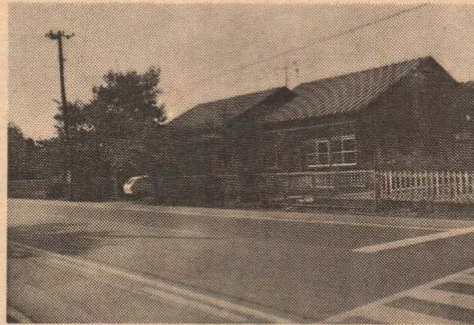
＝今年12月完成の予定＝

市立有浦保育園改築工事の請負契約が、8月12日の臨時議会の議決を得て、中央建設株式会社（代表取締役・黒沢八郎）との間で締結され、いま工事が進められております。

これは、有浦保育園の面している市道が都市計画街路として、現在の幅員11mを16mに拡幅することと、20数年前に建築された園舎の老朽化に伴い改築することになったものです。

道路正面の園舎は、解体し、46年に増築した部分の園舎は移動のうえ、木造平屋建1棟を現在の園舎の後方に新築することになっております。

工事請負金額は4,029万円で、今年12月に完成の予定であり、完成後には、現在の園児数80人を120人に増やすことになっております。



現在の有浦保育園舎

真中地区に 幼児用プール

真中小学校敷地内に幼児用プールが完成しました。

このプールは、縦8m、横9m、深さ40cmで、ろ過装置も設備されています。

今までは、地区の父兄たちが土を掘りピニールを敷いて、こどもたちの水遊び場としていましたが、このプールの完成に地区住民は大喜び、連日たくさんのおもちゃが、水遊びにはしゃいでいます



国保運営委員に15氏を任命

保険料の税率や、保険給付の種類・内容を変更するなど、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する国民健康保険運営協議会の委員に、7月1日付（任期は2年）で、つぎの方が任命されました。

- ＜被保険者代表＞
 - 小田 春二氏（釈迦内・再任）
 - 桜庭亥之助氏（大館・新任）
 - 佐藤 考三氏（川口・再任）
 - 佐藤 稔氏（小袴・再任）
 - 山内 福蔵氏（柏田・再任）
- ＜保険医代表＞
 - 佐藤民二郎氏（佐藤医院・再任）
 - 越前 繁治氏（越前医院・新任）
 - 幸坂十四男氏（幸坂耳鼻咽喉科医院・再任）
 - 伊藤孝次郎氏（伊藤歯科医院・再任）
- ＜保険薬剤師代表＞
 - 布袋屋 裕造氏（ホテヤ薬局・再任）

- ＜公益代表＞
 - 越後屋 満氏（秋銀大館支店長・新任）
 - 虹川 景一氏（市議会議員 新任）
 - 石田 寛氏（ " " ）
 - 桜庭 末吉氏（ " " ）
 - 湯瀬 勝衛氏（ " " 再任）

保健指導医には 佐藤・石田の両氏

当市では、保健婦による家庭訪問や健康相談などで、市民の皆さんの保健衛生や、疾病予防に必要な知識の普及につとめておりますが、この活動効果を更に高めるため、8月1日付でつぎの方々に保健婦の業務指導をお願いしております。

- 佐藤民二郎氏（佐藤医院）
- 石田 真氏（石田病院）

案内標識を設置

市内220カ所

このたび市では、かねて皆さんからご要望のあった各地区の案内標識（案内板矢印板）を、旧市内を除いた全域に設置しました。

標識板は、濃紺、白、青の三色とし、地区名と略図を標示した案内板は、縦65cm、横45cmで、現在地は赤で示してあります。また各地区への案内径路を示す矢印板は、縦25cm、横60cmの大きさで、どちらも文字部分には夜光塗料を用い、夜間でも確認出来るようにしてあります。

案内板は178枚、矢印板は69枚を作製し、これを220カ所に設置しました。

これは、地域の住民はもちろんのこと他からの来訪者にとってはより必要なものですので、今後大切に管理してまいります。市民の皆さんにもご協力をお願いいたします。



＜案内板＞



＜矢印板＞



昭和50年 国勢調査

10月1日、全国いっせいに国勢調査が実施されます。このことについては、8月号ですでに「調査のねらい」と「調査のしくみ」についてお知らせしましたので、今回は「調査の対象と記入方法」などについてお知らせします。

● 調査の対象と 記入の方法

この調査の対象となるのは、大館市内にふだん住んでいる人（またはふだん住んでいるとみなされる人）の全部で、これらの人がふだん住んでいる場所で世帯ごとにまとめて調査します。

ただし、つぎの人たちは、それぞれの場所をふだん住んでいる場所とみなしてそこで調査します。

- (1) 寄宿舎、下宿から通学している学生は………寄宿舎、下宿
- (2) 病院の入院患者
入院期間3ヶ月未満の人………自宅
入院期間3ヶ月以上の人………入院先

- (3) 一時不在の出稼者
不在期間3ヶ月未満の人………自宅
不在期間3ヶ月以上の人………出稼先
調査票記入の方法は、黒鉛筆で記入することになっております。記入の大部分はわくの中を鉛筆で塗りつぶすようになっています。（□→■）これは「光学式読取装置」という機械にかけて集計するためのものですから、ていねいに塗りつぶしてください。

● 調査することがら

今回の国勢調査で調査することがらはつぎの15項目となっております。〔世帯員について〕
・人口の基本的属性を知るため
(1) 氏名

- (2) 男女の別
- (3) 世帯主との続柄
- (4) 出生の年月日
- (5) 配偶者の有無
- (6) 国籍
- ・地域の経済活動の状況を知るため
- (7) 仕事の有無（就業者、失業者、通学者、家事従事者など）
- (8) 従業地または通学地（昼間人口）
- (9) 従業上の地位（自営業主、雇用者など）
- (10) 勤め先、業種などの事業の種類〔世帯について〕
- ・世帯と住宅の状況を把握するため
- (11) 世帯の種類
- (12) 世帯員
- (13) 住居の種類
- (14) 居住室数
- (15) 居住室の畳数

結果の利用

調査の結果は、いろいろな分野で、非常に広範囲に利用されています。

- 例えば、次のような利用があります。
 - 議員の定数および選挙区の決定
 - 通商・通関対策、地域計画
 - 社会福祉対策
 - 雇用、交通、住宅対策
 - 大学・研究所等での学術研究資料
- しかし、個々の目的、たとえば課税などには絶対使用されないことになっております。また、調査員や調査の関係者が調査上

知りえた個人的なことがらを他にもらすことも「統計法」の規定によって固く禁じられています。市民の皆さんのご協力をお願いします。

● 大館市の国勢調査 による人口の推移

大正	9年	43,433人
"	12年	44,301人
昭和	5年	47,465人
	10年	51,572人
	15年	51,636人
	22年	63,031人
	25年	66,946人
	30年	71,232人
	35年	73,027人
	40年	72,883人
	45年	72,958人
	50年	?

